

巻頭言 ー着任のごあいさつー



＜感染管理室長＞
詫間 隆博 室長

このたび、本年1月より感染管理室長に就任いたしました、詫間隆博と申します。私は2009年秋から二木芳人教授（現在は名誉教授）のもと、昭和医科大学病院で感染症の診療と感染対策について深く学んでまいりました。昨年8月からは横浜市北部病院の内科系診療センターで感染症内科を立ち上げ、このたび感染対策の責任者を務めることになりました。

感染症は、かかって病気になること自体が大きな問題です。当院では、この治療を助けるため、医師、薬剤師、臨床微生物検査技師が協力し、「抗菌薬適正使用支援チーム」として、主治医の先生方の診療をサポートしています。

もう一つの感染症の問題は、病気が他の人にうつってしまうことです。これを完全に防ぐことは、現在の医療技術では難しいですが、手洗いや手指消毒、手袋、マスク、使い捨てガウンなどを適切に使うことで、かなり多くの感染を防げることが分かっています。これらの感染拡大を防ぐ活動を行っているのが「感染対策チーム」です。

しかし、私たち感染管理室だけの力では、皆様が感染症から身を守るための環境を完全に整えることはできません。ぜひ皆様も、ご自宅に帰られた時や食事の前、トイレの後には手洗いをを行う、病院内や人が多く集まる場所ではマスクを着用するなど、ご自身や大切なご家族を守るための対策を日々実践していただきますようお願いいたします。

感染管理室は、これら二つのチームをまとめています。これらのチームが十分に機能することで、病院内で他の人から感染症をもらうリスクを極力減らし、もし感染症にかかっても素早く治療して回復できると考えています。このように、感染管理室は病院を感染症から守り、皆様が安心して過ごせる環境を整える、重要な部署です。近年では、当院の中だけでなく、地域の病院や老人保健施設などとも連携し、お互いの感染対策の技術を高める取り組みを行っています。また、都筑区の保健所や横浜市医療局の健康安全課とも協力し、地域全体での感染対策向上に向けた活動も進めています。まだ十分な取り組みができていないとは言えませんが、地域全体を感染症から守り、安心して過ごせる環境を整えることを大きな目標として、今後も努力してまいります。

私たちも、各種学会だけでなく、昭和医科大学の各附属病院、横浜市感染防止対策支援連絡会、私立医科大学病院感染対策協議会などを通じて、様々な新しい知識や工夫を積極的に取り入れ、日々の業務に活かしてまいります。何かお気づきの点などございましたら、ご遠慮なくご意見をお聞かせください。



P1 【巻頭言】 着任のごあいさつ

P2 【医学講座コーナー】 秋期市民公開講座に向けて

P3 【お知らせ】 がんサロンを開催します

【お知らせ】 がん相談支援センターをご存知ですか？

P4 【患者さんからのご意見・ご要望】 【編集後記】

（循環器内科 岡部 俊孝 講師）

心臓弁膜症とは？

心臓の中には血液の流れを一方通行にするため、ドアのように開閉する 4 つの弁があり、これが血液の逆流を防いでいます。この弁が、加齢などで硬く開きにくくなり、血液が流れにくくなる（狭窄症）、あるいは、閉じきらなくなって血液が逆流してしまう状態（閉鎖不全症）を心臓弁膜症と総称します。

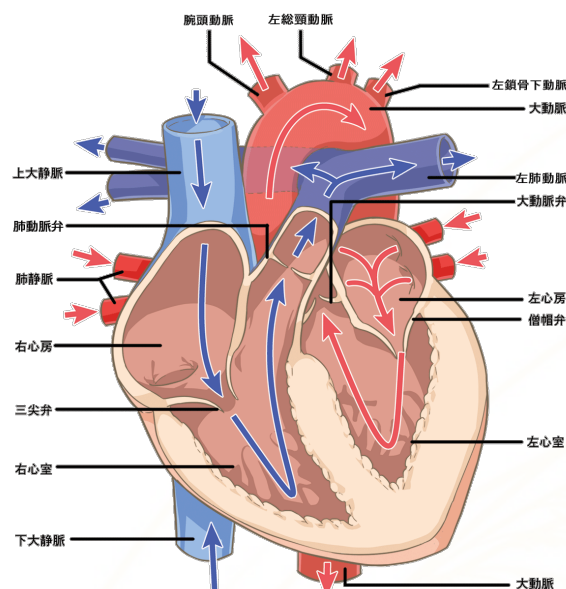
年齢と共に増加する病気で、65 歳以上の約 10 人に 1 人が、心臓弁膜症にかかっている可能性がありますとも言われます。中でも近年患者数が増えているのが、大動脈弁狭窄症（心臓の出口の弁が狭くなる）と僧帽弁閉鎖不全症（僧帽弁がうまく閉じず血液が逆流する）です。弁膜症は初期には自覚症状がないことも多く、気づかないうちに進行していきますが、悪化すると、階段を上ただけで息切れがしたり、むくみが出たり、動悸や疲れやすさを感じるようになります。また、大動脈弁狭窄症に関しては高度に進行した場合、胸の痛みや失神といった症状が出ることもあります。「年のせい」、「運動不足のせい」と思い込んでいる症状が弁膜症の最初の兆候である可能性もあります。弁膜症が明確な症状が出るほど悪化してしまった場合、治療せずにいると数年以内に命に係わるような経過をたどることもあります。

どのようにして治療をするの？

診断については聴診器で胸部の音を聞く（聴診）から始まります。聴診の際に通常と異なる音（心雑音）が聞こえる場合は弁膜症が疑われ、正確な診断には心臓超音波（心エコー）検査を用います。心臓弁膜症は自然には治らず、薬では進行を止められません。薬の治療は症状をある程度和らげることができますが、根本的な治療にはならないため、重症の方の場合は手術などの治療が必要となります。根本的な治療法は大きく分けて外科手術（悪い弁を人工弁に置換・修復）と体への負担が少ないカテーテル治療があります。年齢的に、または心臓以外の腎臓や肺の病気を抱えており手術が難しい場合では、M-TEER（経皮的僧帽弁クリップ術）、TAVR（経皮的動脈弁置換術）などカテーテルによる治療が選択されます。

まずは、お気軽にご相談ください。

当院では外科手術（弁形成術・弁置換術）に加えて M-TEER を導入しており、患者さんの状態に合わせた最適な治療を提供できます。心臓弁膜症は高齢でも治療可能な病気です。動悸や息切れなど気になる症状があれば早めに専門医に相談してください。



【お知らせ】9月 がん患者サロン「きぼう」

がん患者サロン「きぼう」の9月18日（木）の開催が決定いたしました。

今月のがん患者サロンでは、「がん治療中の食事の工夫」「治療中の食事とお口のケア」についてのミニレクチャーを行います。がん療養において必ず直面する、緩和ケアや患者さんとそのご家族のこころのケアについてお話しする予定です。ぜひご参加ください



9月度 がん患者サロン「きぼう」

開催日時：9月18日（木）14：00～15：00

申込方法：申し込み不要、途中参加、途中退出も大歓迎！

開催場所：昭和医科大学横浜市北部病院 中央棟9階会議室

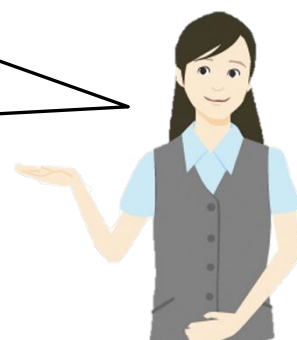
ミニレクチャー：「がん治療中の食事の工夫」「治療中の食事とお口のケア」

お問い合わせ：中央棟1階100番「総合サポートセンター」045-949-7000（代）

【お知らせ】がん相談支援センターをご存知ですか？

「がん」は、日常生活を送りながら治療し、長期間にわたって付き合っていく病気になっていきます。がん相談支援センターでは、そのようながんに関する様々な悩みや相談に対し、専門の相談員が対応しております。

どのようなご相談・悩みにも丁寧に対応しますので、一人で悩まずお気軽にお越しください！また、月に1回患者さん同士で話し合えるがんサロンを開催しております。皆さんでお話ませんか？皆様のお越しを心より待ちしております。



【場 所】昭和医科大学横浜市北部病院 中央棟1階 総合サポートセンター

【受付時間】平日9時～16時（土日・祝日を除きます）

【予約・費用】予約は不要で無料で受け付けております。

個人の秘密や相談されたことにより不利益が生じないように配慮いたします。

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答
先ほど、西棟連絡通路で、医師と看護師がスマホを見ながら話しながら歩いていて、危うくぶつかりそうになりました。 直前まで気が付かず危険なので、さすがにやめたほうが良い。	この度は、当院職員の不適切な行動により、ご不快な思いとご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。ご指摘いただきました「歩きながら、話しながらのスマホ」につきましては、周囲への配慮を欠いた大変危険な行為であり、決してあってはならないものと認識しております。いただきましたご意見を真摯に受け止め、全職員に対し注意喚起を行うとともに、安全意識の徹底を図ってまいります。貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：クオリティマネジメント課)
歩行器の日割り貸出があると助かります。	貴重なご意見ありがとうございます。 福祉用具レンタルは通常1ヶ月単位となっております。 2週間単位のレンタルは、昭和医科大学横浜市北部病院の患者さん向けに特別に設定された期間であり、通常は数日でも1ヶ月単位の料金（歩行器は4,000円）となることをご理解いただきたいと思います。また、レンタルごとに生じる消毒・点検作業、そのための回収・納品の運搬作業を含めた中で、通常ではない廉価であることも、あわせてご理解いただければ幸いです。 (回答部署：ナチュラルローソン)

編集後記

9月1日は「防災の日」。関東大震災の教訓をもとに制定され、今では防災週間として、全国各地でさまざまな取り組みが行われています。近年は地震に加えて、豪雨や台風などの自然災害も多く、改めて日頃の備えの重要性を感じます。医療の現場にいる私たちにとっても、防災は「いざ」というときに命を守るための大切なテーマです。院内でも定期的な訓練や備蓄品の見直しを行うなど、職員一人ひとりの意識が欠かせません。

ご家庭でも懐中電灯や水、非常食などを点検したり、避難経路や家族との連絡手段を確認したりする良い機会です。「備えあれば憂いなし」。日常の中でも、防災を意識する時間を取り入れてみませんか？

(リハビリテーション室 藤永 滯 技師)

北部病院だより 第207号(2025年9月1日発行)
発行責任者 坂下 暁子(昭和医科大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)
発行 昭和医科大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)

URL: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。

